

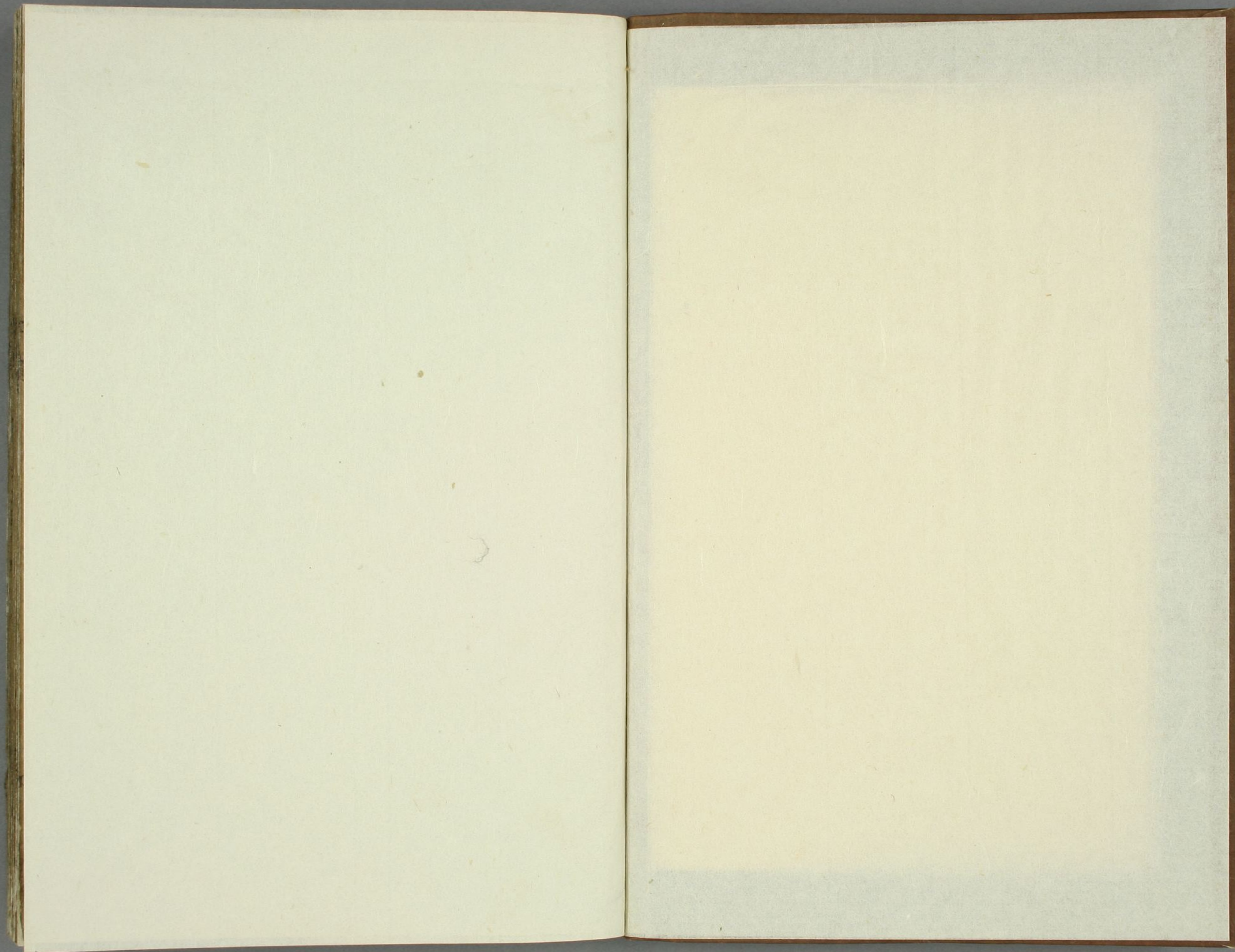


塵劫記

卷之第四

特別
二 2
4127
4





塵劫記卷之第四目錄

廿一 川ふきん此事

廿二 羊ふきん此事

廿三 木のろうさをまうこにてほす事

廿四 町流り此事

廿五 開平法此事

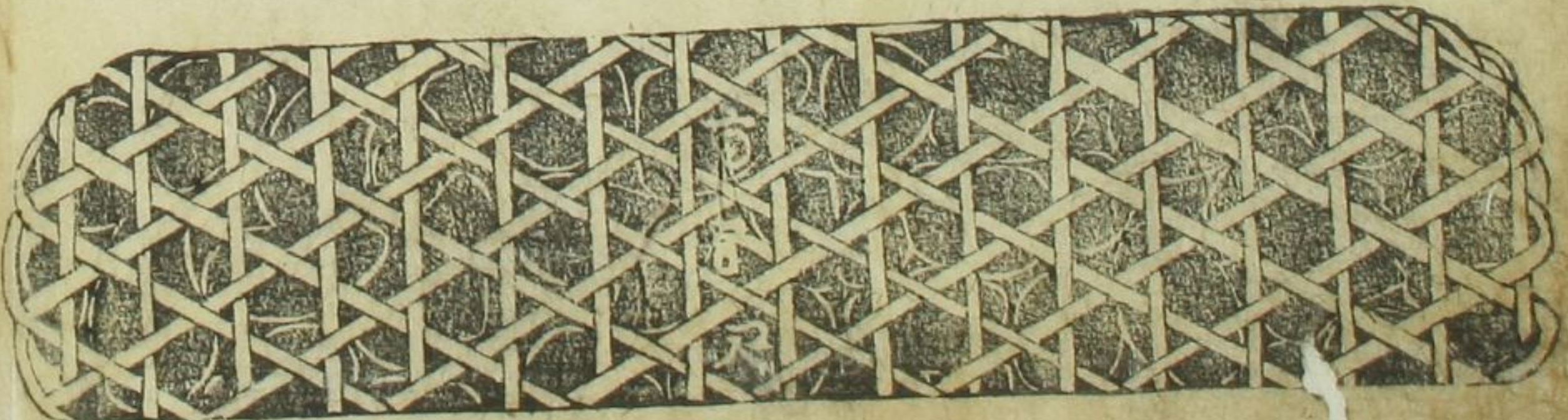
廿六 開立此事



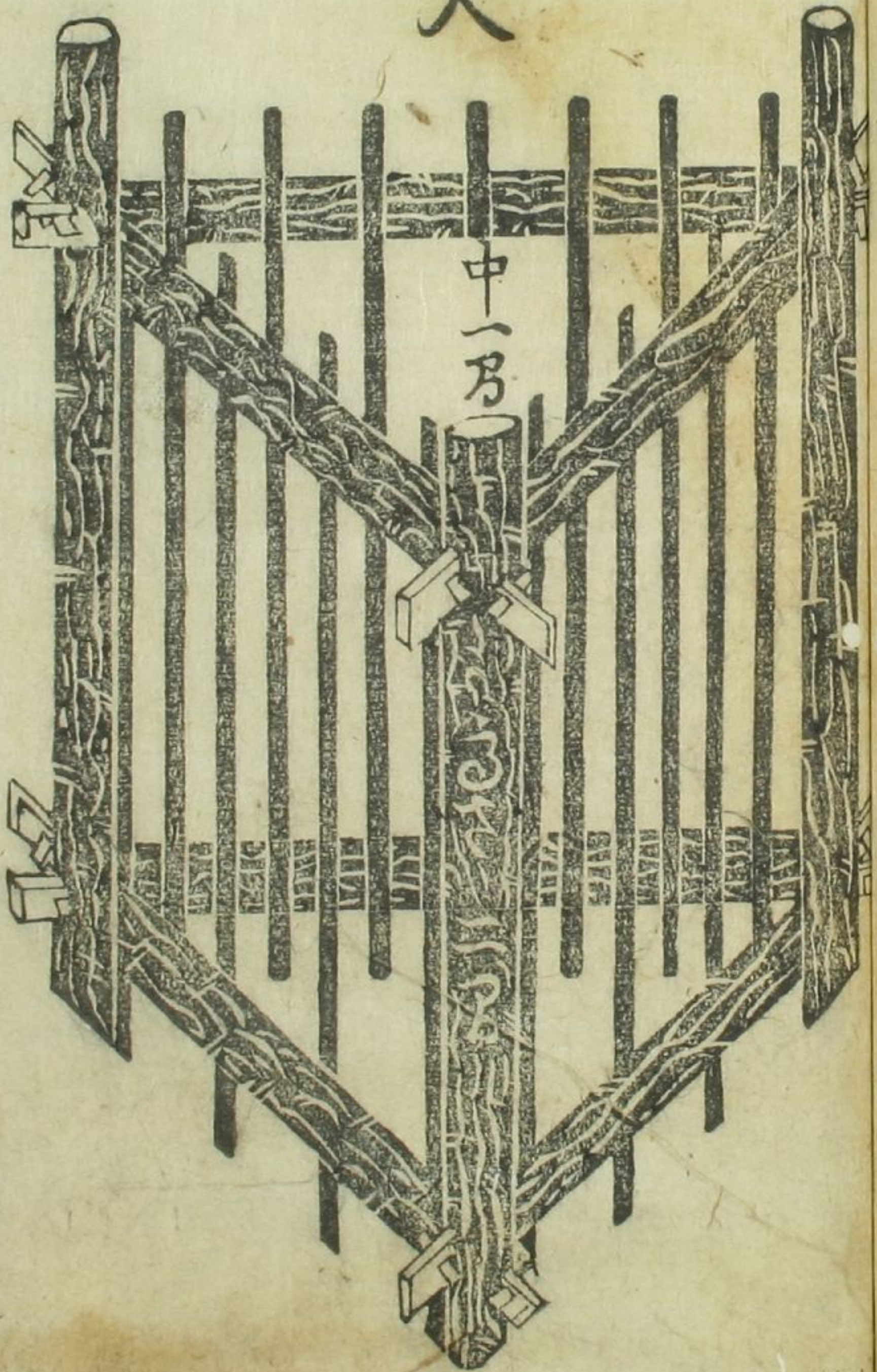
一ドやうこ乃ほりりのま

四坪二合七支入

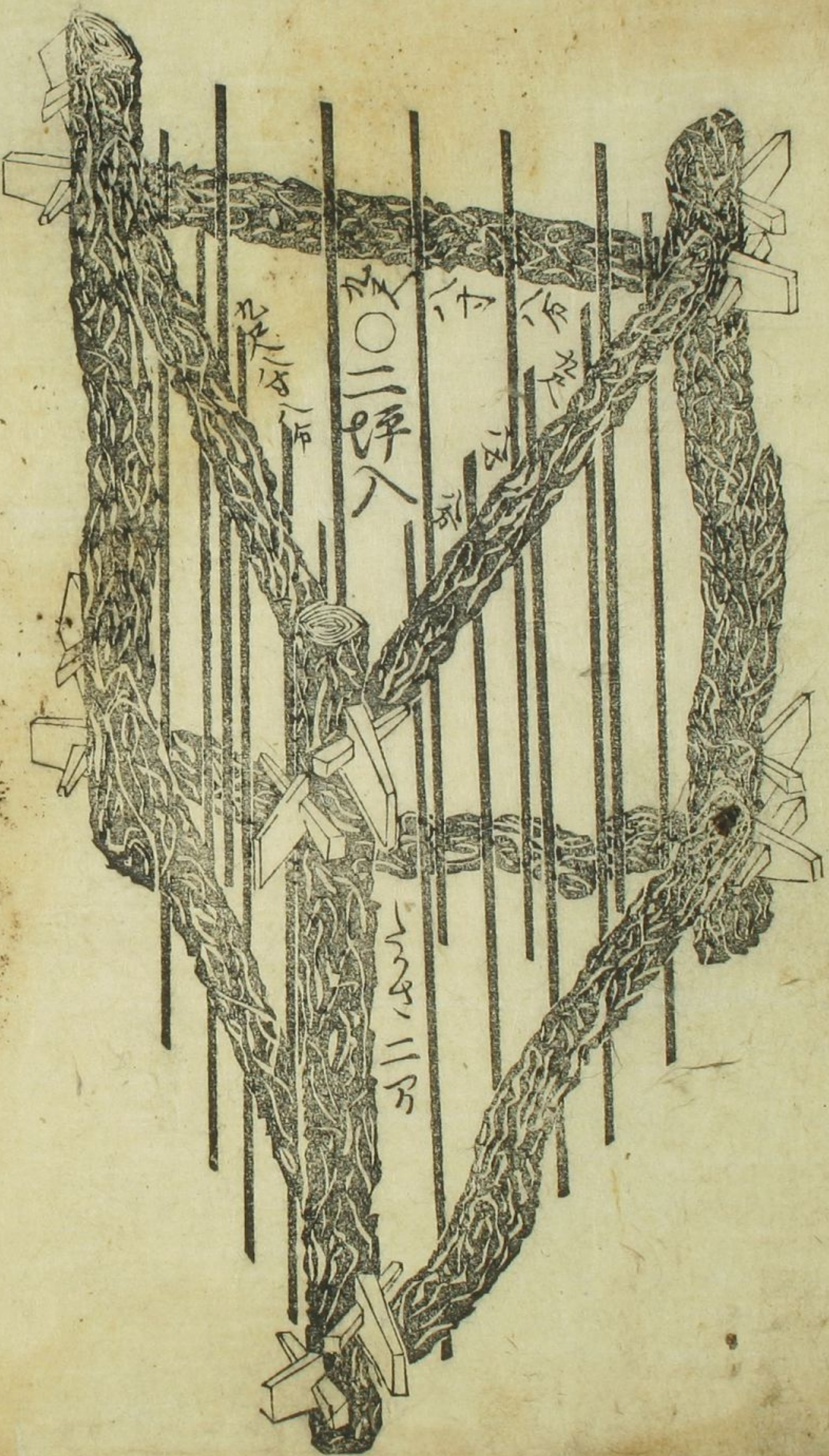
法ふめをを右を垂ううの
二めを成るゆまのまの法七九を
うのれの一七七五とあらう
もさぬ右とあらうの一七七五
これをして四二二五にして
四坪二合七支入とあらう



〇二坪入



法よ中一乃とを右よを垂ううの
二めを成るゆまのまの法七九を
うのれの一七七五とあらう
もさぬ右とあらうの一七七五
これをして四二二五にして
四坪二合七支入とあらう



九尺八寸の分を老有^まの垂^たり^さり
 九七六一四四とあるは角法四三三から
 四二二六七下三五二と成るは一^さき二^さき
 二^さき^さの八四五三四下七下四と成るは平坪法
 四二二五と成るは二坪とあるは

芳名をいりたる

港



才世

美あまきんわり此

一広い地銀花へい銀ともありひ五百七拾五

主人三りらと一七うけとる

一からの人うつ 七百拾人あり

一りら此人うつ 千五百人あり

一かから乃人うつ 七百廿人あり

三州合三千人し一から百数あり程と同時

○破口百四拾九万石ん 七百拾人の分

○万口或百拾七万石 千五百人の分あり

○万口百廿八万 七百或拾人の分

法よ一尺のひとつ七百八千人とをきこひは
五百七十五万とつれを四四八五とかりは
人の言三千人てよは百四拾九万とをきこ
ゆふ二尺のまひやうもつれは

○つれをもしめよわりてつるをは

初めりあけてのちふわり

一七百八十人とをき百四十九万とあり
一人あのかまふつれつる中より

○一人あの一尺二寸四合わり八毛銀とつ

法よ百四十四万とありは
九七一七五と成こは
一尺二寸四合わり八毛銀とつ

一尺のちりきこ百半三万とありは
あつた二万とつれありとあり

○一万千四百九拾坪とつ

法よ二百八十三万とありは
四拾五坪ふたりあり
一百万とありは

一尺のちりきこ百半三万とありは
け坪のちりきこあり

一 一ツリの内寸を四角に取らば小ひらき五ツ三と
少き二ツ二尺の時け坪の何れも同じなり

○五ツの内格一坪一合を又五とす

法は四ツ内角を又五とすなりは六五とくれば
四角の格丈の尺と板はよひらきも右とあはく
きてこれとよけて又少きも一丈五尺よ
りて右とよくれば一三八七一六二五となる
是と右と別は又右の坪の法二七四六二五と
きてこれと右をあらわす時一五千の坪一坪
一合を又五とすなり

一 五千坪の時一ツリ口のひらき五ツよ少き

二ツ半より右と五千坪は少きと同時

○たゞ少き四角内角よ少きなり

法は五ツを二ツ半よりくれば十二坪中とある

これに右と五千坪とよければと右とあはく

一又五千坪の時を四ツ内角よひらき五ツよりして

みもこの五千坪の少きとよす

○少き二ツ半とよす

法は少き四角の内は五ツとくれば二千坪と成
これより五千坪とよす時二ツ半とよすなり

一 有りの長は四百はしひろき五万少くさ二万を
あり有りさうめいまはまはりけうめはちよ
を四百の指成はひろき三万少くさ二万は城を
ありては五面てなふれくうまるちと四時り

○一尺二尺八寸六分うまるゆしよ

はよと空ちり千方りひろき三万をくくれを
千四百拾坪と成れよ少くさ二万をかくれは
二千の首は拾坪と成れをちよ別りなきて
又ひりてと空ちり万と五あれよひろき五万を
くくれは二千坪と成て右を二千八百八十坪を
わはる一尺四四とるありけ四四とりのあは
まれぬ時ちよた尺寺さくくれは一尺二尺八寸
六分とちり

一 又右より有りさうめい時よく一ちよわうめて
ゆくときさちりさうふれくうまるちと四時

○とさ武百世は二尺六寸のうまるといふ
はふひろき五万よ二万をくくれは十二坪を
かろ是れ七二千八百八十坪をくくれは武百世万
四と成て四よ六尺む寸をかくれを武百三拾万
二尺六寸とちりじかち

一八いの言一尺一尺五寸よとせり七拾二万ある時
んまこの坪のうらふりくまなと四時一

○の積八坪六分一リの色をとりし

法よ一尺一尺五寸と右よ垂^{たか}け一尺とくりり
六五をくりり時の尺と取^とりしを七七十二万よ
くりり時よ五七六とくりりこれを六尺五寸よと
わりとまきり一八十八坪六分一リの色を
とる

一や祿坪廿六坪の時こけらあきり一とせりあき板^が
あきり入り電どう時一リ^のまにせあ一と守
中よ一寸五分むひて三寸あり三とくりり
あきり一と守りとのあきりあきり三寸あり
あきりよめて右よ三十六坪一とあき板^がの入積^り
かふり^りと四時よ

○この坪千の首板入とつ

法よ四二二五よ廿六坪とくりり一五二一と成
これをとよへちふなき 又ひりり板のま
三寸とや祿れあきあき一と守りよくりり
四五とかり是にくりり一五二一とくりり
三万とくりり首板をとり

一こうもふれのひ一尺 符五分あがりゆかり付雲

○五分 ぼうさいのひ一リ二毛四糸九忽

○一寸 ぼうさいのひ四リ九毛八糸七忽

○二寸五分 ぼうさいのひ一カ一リ一毛八糸

○二寸 ぼうさいのひ一カ一リ一毛

○三寸五分 ぼうさいのひ二カ下七と七糸

○三寸 ぼうさいのひ二カ四リ下三糸

○四寸五分 ぼうさいのひ三カ九リ七と三糸

○四寸 ぼうさいのひ三カ七リ下三糸

○四寸五分 ぼうさいのひ三カ六リ五と八糸

○五寸 ぼうさいのひ四寸一カ一リ三糸

○五寸五分 ぼうさいのひ一寸四カ一リ二毛七糸

○六寸 ぼうさいのひ二寸六カ一毛九糸

○六寸五分 ぼうさいのひ一寸九カ二リ六と二忽

○七寸 ぼうさいのひ二寸二カ六毛五糸

○七寸五分 ぼうさいのひ二寸五分

○八寸 ぼうさいのひ三寸一カ六毛二糸

○八寸五分 ぼうさいのひ三寸一カ二リ四毛四糸

○九寸 ぼうさいのひ三寸四カ一リ三毛六糸

○九寸五分 ぼうさいのひ三寸七カ一リ三毛一糸

○一尺 こうなりのひ四寸五分四リ二毛一糸
右に糸が高実法とてわり付違ひあり

一ありひむひのな一らよわのき此けたまたその男
三割五寸五分といふしそのひせよふふれく
あつろくせとさうとまいたり

○三寸二尺三寸一分五分ハ毛五糸よ成と云
はままよ六尺五寸くひ一丈の尺五寸と成
二寸を五寸とさうといは法一寸七分ハリ三糸小
かくれと二尺三寸一分五分ハ毛五糸とさうと
これを三寸よとさうとさう

糸子三

木のうらさをとらるかこほてはひりる事



法のまゝのうらんを四角とありて
 又まゝのうらんをありて下れすは
 小石をうらんのうらんとありてほりさけて
 かいせすしくらんのうらんとありて
 又まゝのうらんをありて下れすは
 ませけんごをうらんのうらんと
 又まゝのうらんをありて下れすは
 又まゝのうらんをありて下れすは



〇あらん七万年

丁巻

力廿四

町はりりれ寺

谷三什條

ひのひけ 丑足を



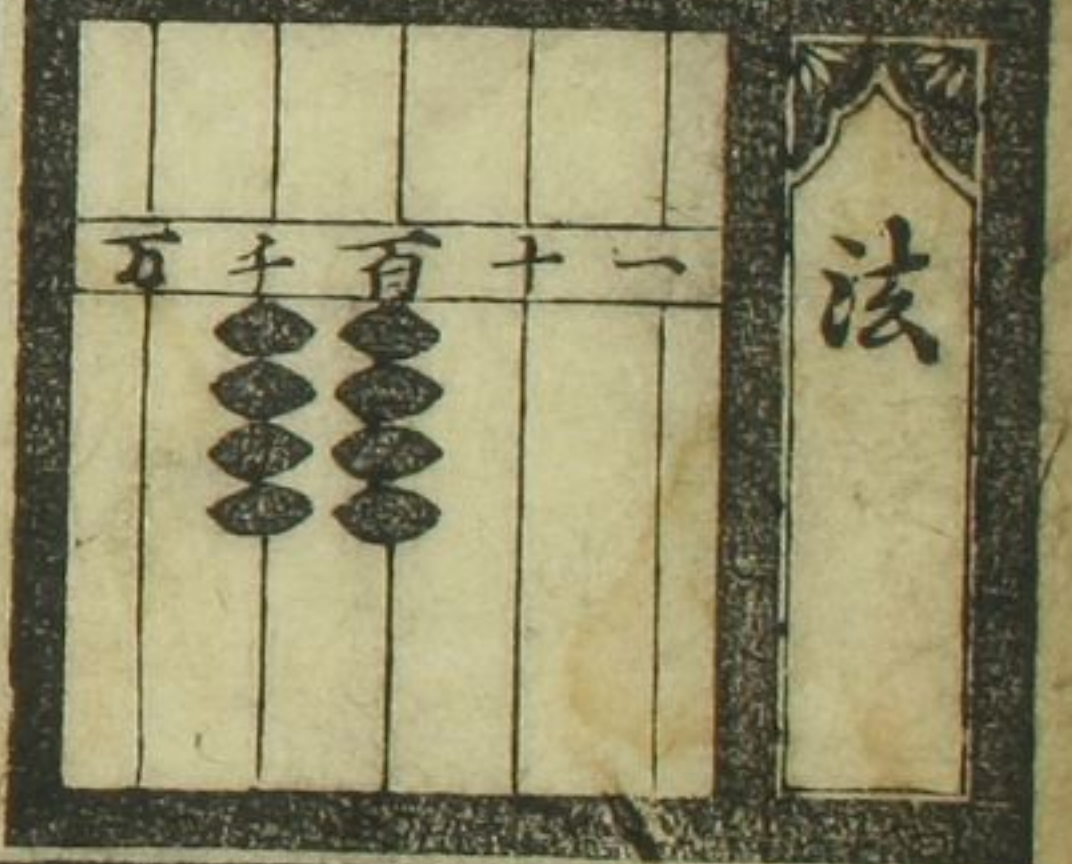
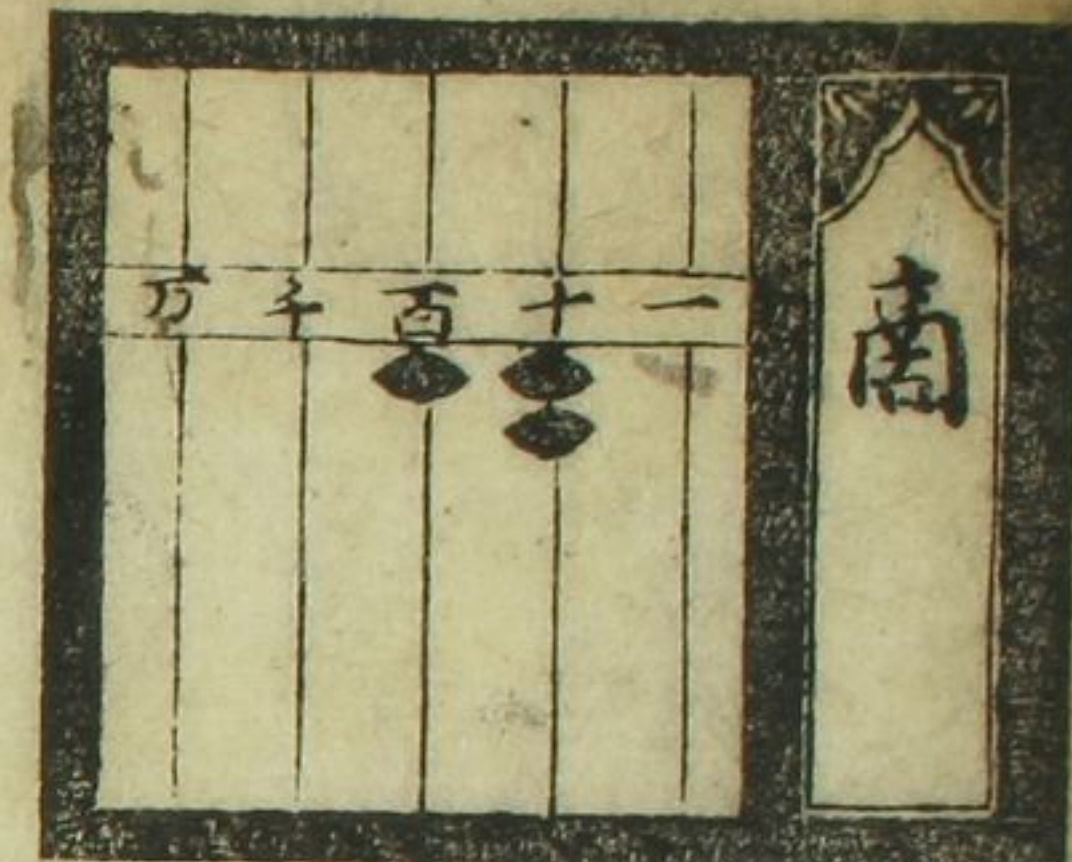
山田村のりりれ寺
町はりりれ寺

むらい入のなるそりか
らふわあるるるるるる
らふわあるるるるるる

○きむい 町はりりれ寺



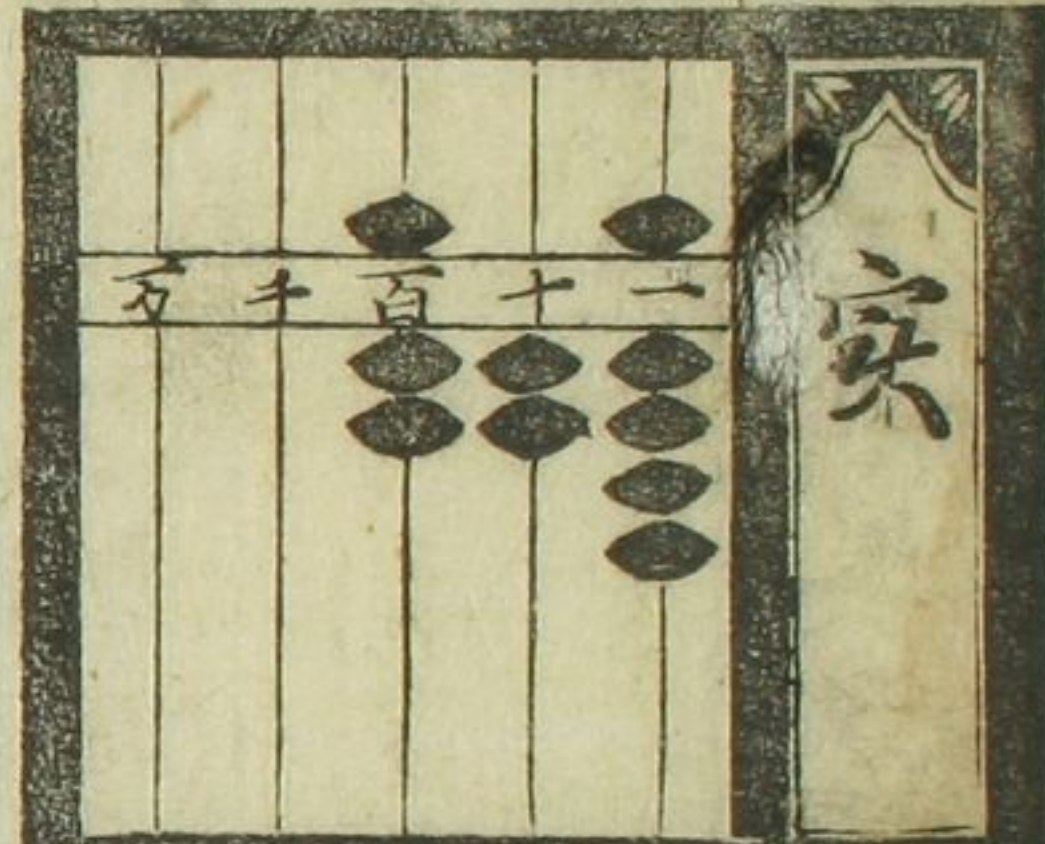
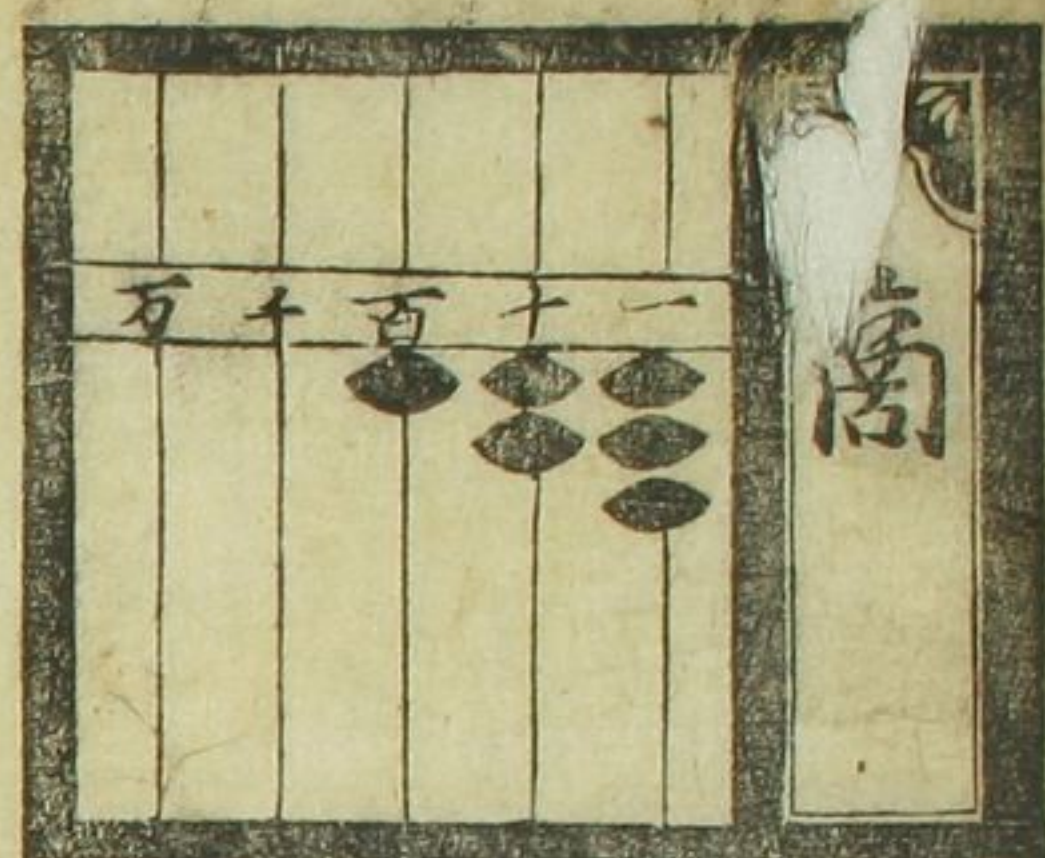
町巻



十	四	百
二千坪	一万坪	
四百坪	廿	廿

はよりよ。南の百乃ははちと二十とよかんとせんと
 下方といふははちと二十とよかんとせんと
 二十とよかんとせんとは二十とよかんとせんと
 南乃廿とよかんとせんとは二十とよかんとせんと
 下方のすは南の廿とよかんとせんとは二十とよかんとせんと
 とせんとは二十とよかんとせんとは二十とよかんとせんと

計て七百廿九坪あり



百	一 万 坪	百
二十 三 万	廿 十 坪	廿 三 万
四 百 坪	廿 十 坪	九 坪
二 千 坪	廿 三 万	九 坪

法より高の法は三とをきいて下方と
 一〜三の法は倍四とをきいて下
 三とをきいて高の法は倍四とをきいて下
 きて又法よりて下方の二百の高の三とよ
 二三の法は倍五又下方の四十の高の三
 よよ三四の法は倍五又下方の三の高の
 三とよよ三三の法は倍五又下方の廿九
 これを實にきいておきか付百廿之万
 四わくよ
 ろりゆしきかへし
 一積三塊五京二兆一億二万五千二百二十五坪と

開平法よきてもかふりくまに開平なり

○一万八千七百六拾五方とす

一積九条五兆一億四千万令五百十六坪ある時なり

二内を開平法よりてうふわくまことなり

○九千七百四十四方とす

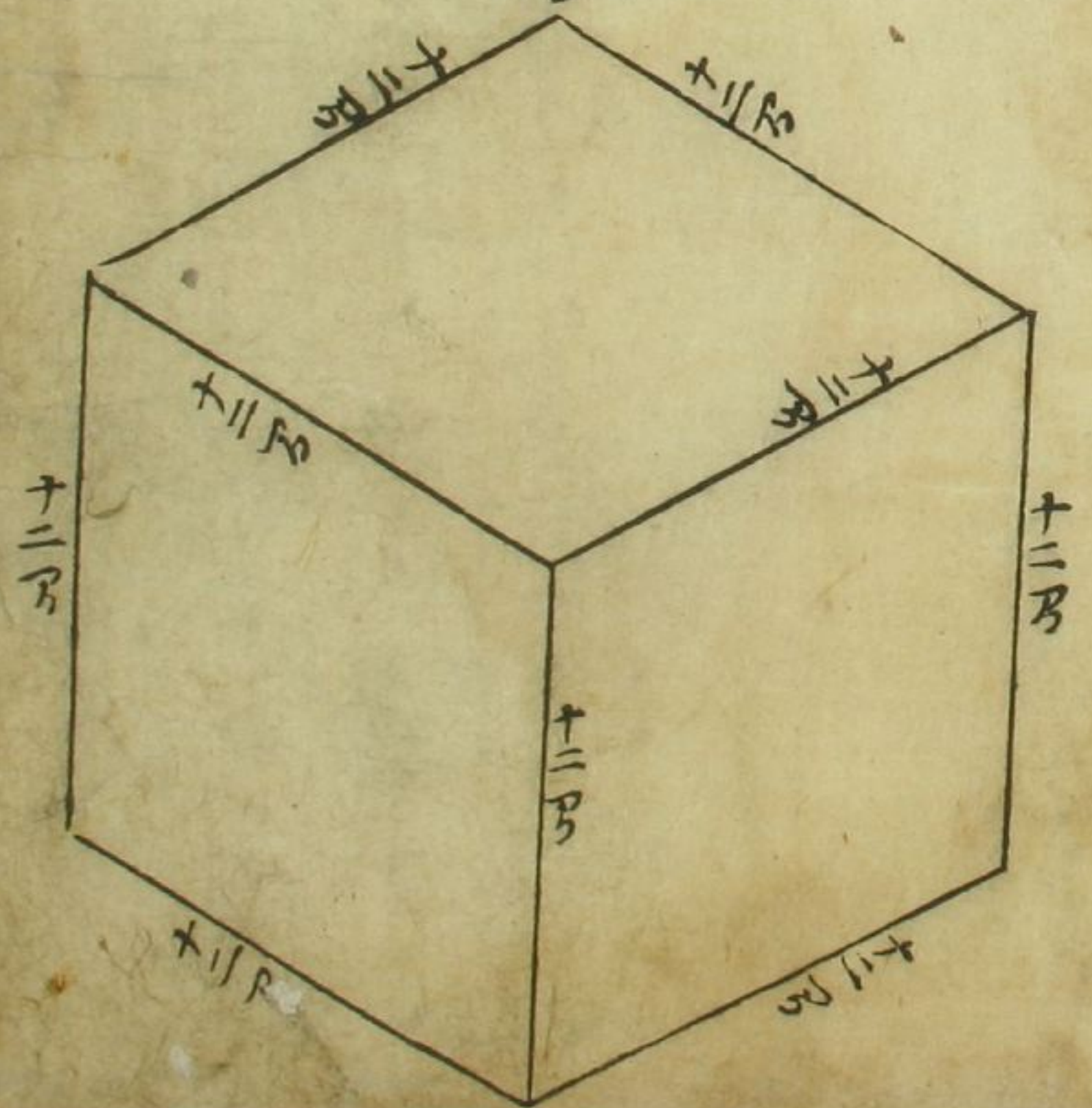
右よりいへい法本界よりなり○又一方んて
ありこれに倍なり

開立法

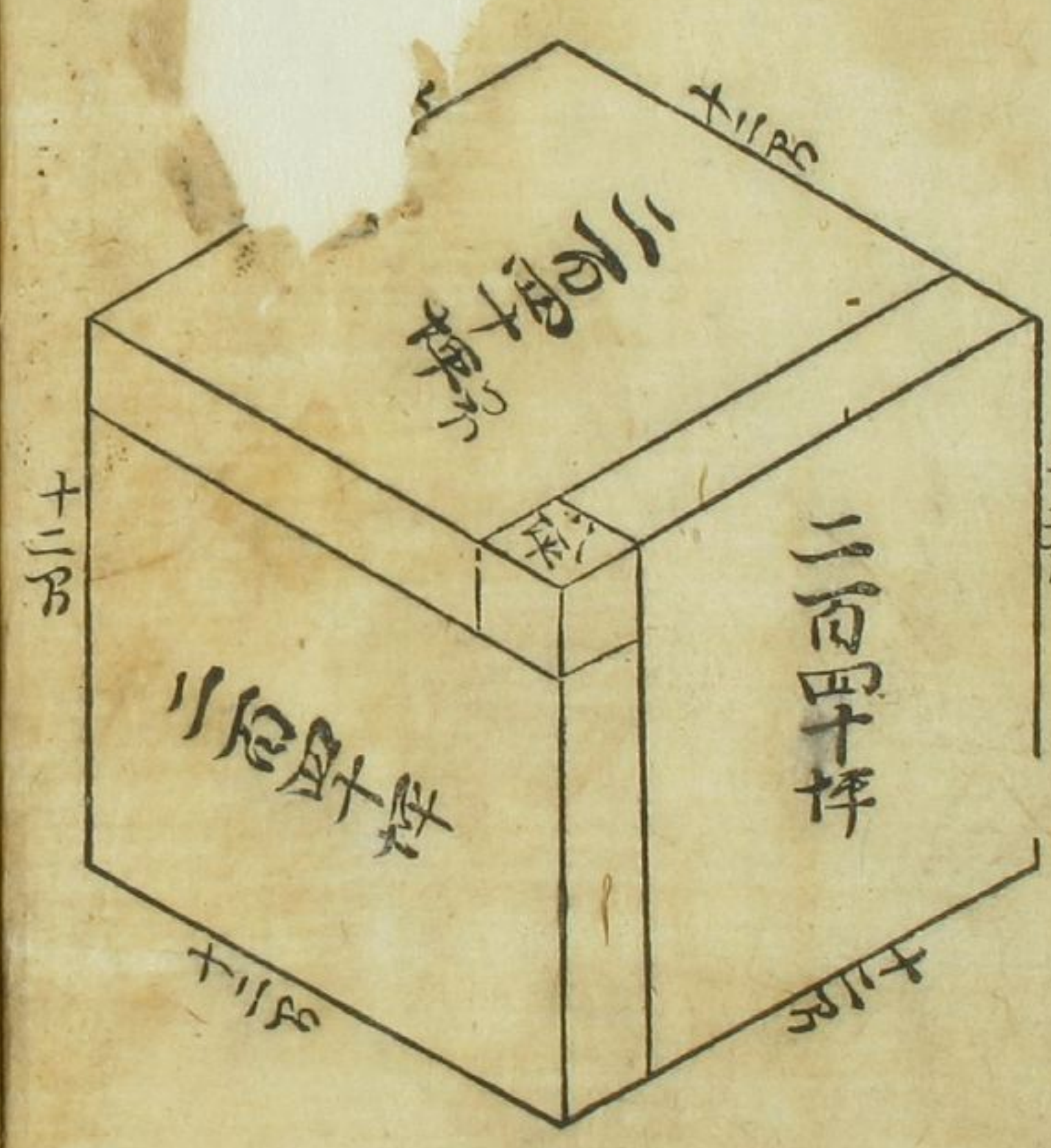
坪敷千七百六十八坪ありこれをいへい法より
うふまありまけよきて何なり

時なり

○十二万四万



<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>●●</td></tr> </table>	千	百	十	一			●	●●	廣
千	百	十	一						
		●	●●						
<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr> <tr><td>●●</td><td>●●●●</td><td>●●</td><td>●●</td></tr> </table>	千	百	十	一	●●	●●●●	●●	●●	実
千	百	十	一						
●●	●●●●	●●	●●						
<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr> <tr><td>●●</td><td>●●●●</td><td>●●●●</td><td>●●</td></tr> </table>	千	百	十	一	●●	●●●●	●●●●	●●	法
千	百	十	一						
●●	●●●●	●●●●	●●						
<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●●●●</td><td>●●●●</td></tr> </table>	千	百	十	一			●●●●	●●●●	下方
千	百	十	一						
		●●●●	●●●●						



此より廣は十尺の物に二寸きて下方の十を
 十二尺にして一尺の物に二寸きて下方の十を

其の世は廣の十をよぶ一三六
 並又は世乃のまよひて下方の世
 一十と上て法の六小廣の二をかく成二六の
 百廿となくともまよひて廣の十をよぶ一三六
 〇はて八坪ありこれを見

小角より一と法にて高の二と法よも二と法
法比二より高の二をかきや二二の四と法一
なき又あれよ高の二かくれを二四の八坪と
かるこれを実にといき拂らむ

角
合

算
知
場

